

はかた しもばる たたらちゅうがっこうにし
博多バイパス 下原～多々良中学校西交差点(3.3km)

開通半年後の交通状況について【お知らせ】

去る3月17日(土)に全線開通した博多バイパスの開通半年後の交通状況及び調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

【交通状況】

別紙①

開通前、及び、開通1ヶ月後に比べ、国道3号(現道)や生活道路の交通量は減り、博多バイパス(今回交通区間)の交通量は増加しており、交通の転換が進んでいます。

断面①	開通前 (台/12h)	開通1ヶ月後 (台/12h)	開通半年後 (台/12h)	開通半年後－開通前 (台/12h)
国道3号 (現道)	52,200	39,300	38,900	△13,300(26%減)
博多バイパス	—	17,900	19,700	19,700(増)
生活道路 (県道町川原福岡線)	9,400	6,400	6,200	△3,200(34%減)

※開通前:H30.3.6(火)、開通1ヶ月後:H30.4.17(火)、開通半年後:H30.10.3(水)の12時間交通量

※国道3号:バイパス北出口～産大前交差点交差点間

生活道路(町川原福岡線):下原交差点～オークタウン入口交差点

博多バイパス:バイパス北出口～石坂池交差点交差点間

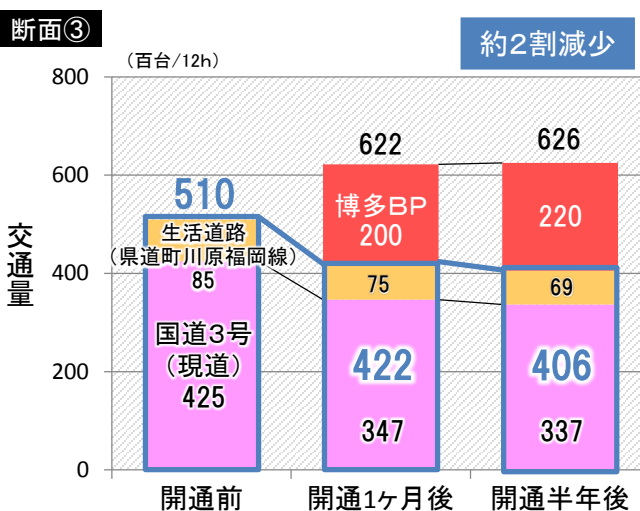
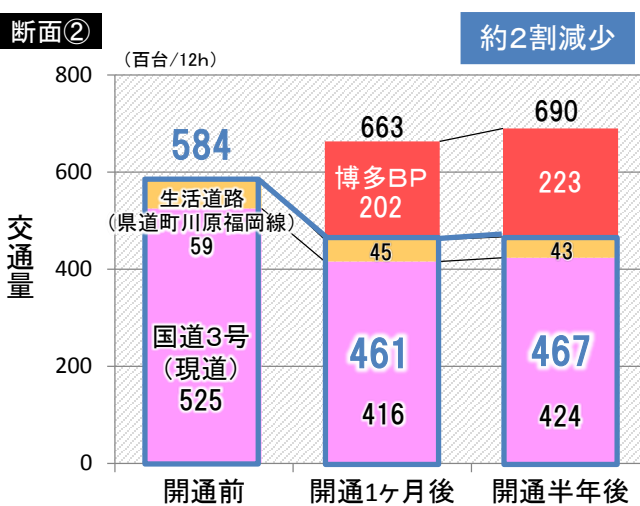
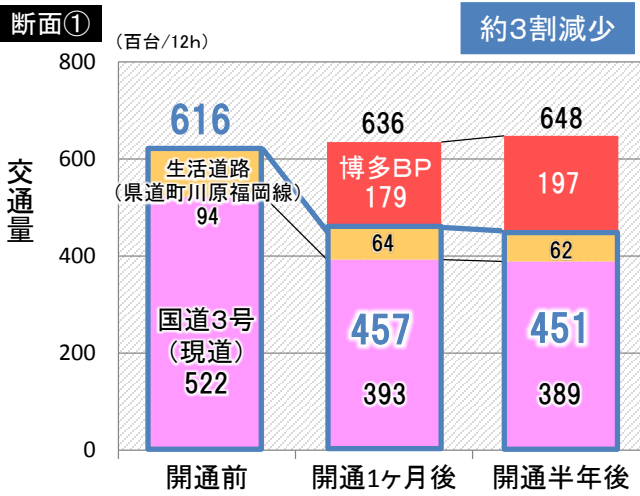
【整備効果】

別紙②③

- ◆国道3号(現道)の渋滞がほぼ解消
- ◆生活道路の交通量が減少し安全性が向上

- 今回開通区間(下原～多々良中学校西交差点)の開通半年後の交通量は、約2. 2万台/12h。
- 博多バイパス開通後は国道3号(現道)、県道町川原福岡線の交通量が2～3割減少。
- 約9割を分担していた国道3号(現道)の交通分散化が図られ、香椎地区の交通が整流化。

約2～3割が博多バイパスに転換



●国道3号（現道）の直進方向の交通の減少により、香椎参道口交差点で発生していた約3kmの渋滞が緩和するなど、国道3号（現道）の渋滞がほぼ解消。

国道3号（現道）の渋滞状況



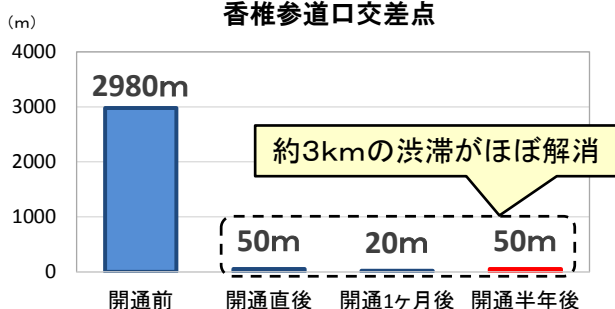
資料：ETC2.0プローブデータ（H30.3.5.～H30.3.16 平日午前7:30～8:30）



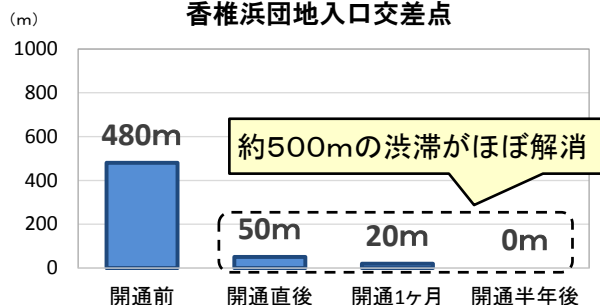
資料：ETC2.0プローブデータ（H30.10.1～H3010.12 平日午前7:30～8:30）

国道3号（現道）の渋滞長の変化

香椎参道口交差点



香椎浜団地入口交差点



データ：交通量調査結果（開通前：H30.3.6（火）開通1ヶ月後：H30.4.17（火）開通半年後：H30.10.3（水））

バス事業者の声

博多バイパス開通後は国道3号（現道）の渋滞が緩和され、よりスムーズに走行可能となり、運行の遅延が減少しました。

物流事業者の声

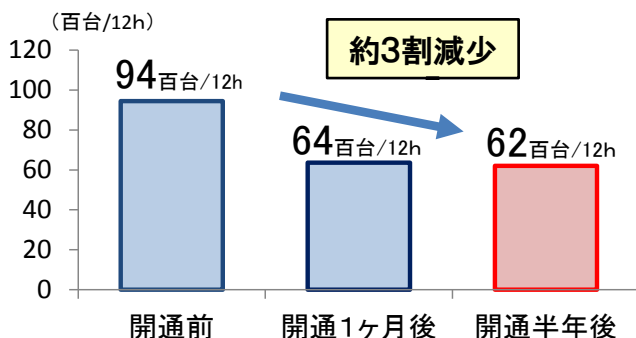
博多バイパスの開通により円滑な配送ができるようになり、配送時間の遅延が減少しました。また、ドライバーの運転時間が短縮し、労務環境の改善につながっています。

- 生活道路である県道町川原福岡線や市道の交通量が減少。
- 生活道路の交通量の減少により、小学生の登下校をはじめ、地域住民の安全性が向上。

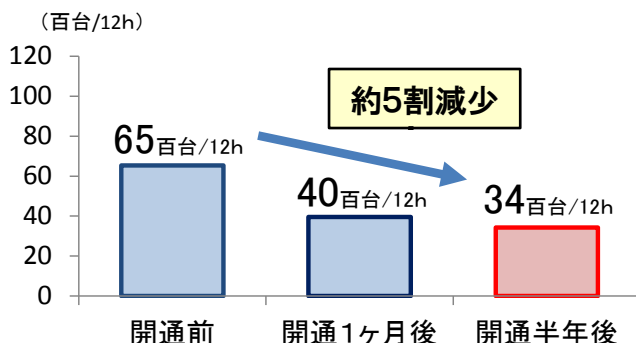


▲生活道路の交通量の変化

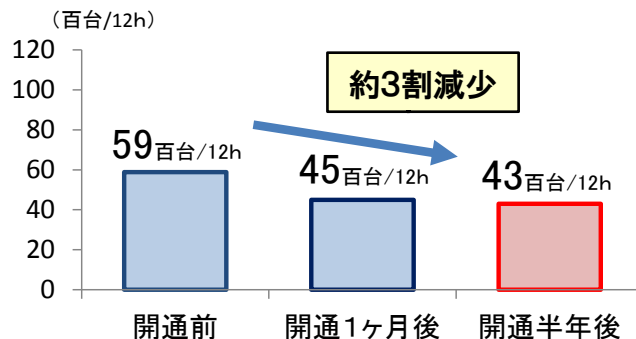
県道町川原福岡線



市道



県道町川原福岡線



データ: 交通量調査結果

(開通前: H30.3.6(火) 開通1ヶ月後: H30.4.17(火) 開通半年後: H30.10.3(水))

生活道路沿線住民の声

博多バイパス開通前は県道の交通量が多く危険だという声が多く聞かれていましたが、博多バイパス開通後は交通量が減り、危険だという声は聞かれなくなりました。

下原小学校保護者の声

博多バイパス開通前は、通学路に多くの車両が入ってきて、危険を感じていました。開通後は交通量が減り、子供が安全に通学できるようになりました。